福井県　先進マテリアル分野における地域産業クラスター計画の概要

～ 資源循環を実現する先進マテリアル産業クラスターの形成 ～

計画案

１．産業領域

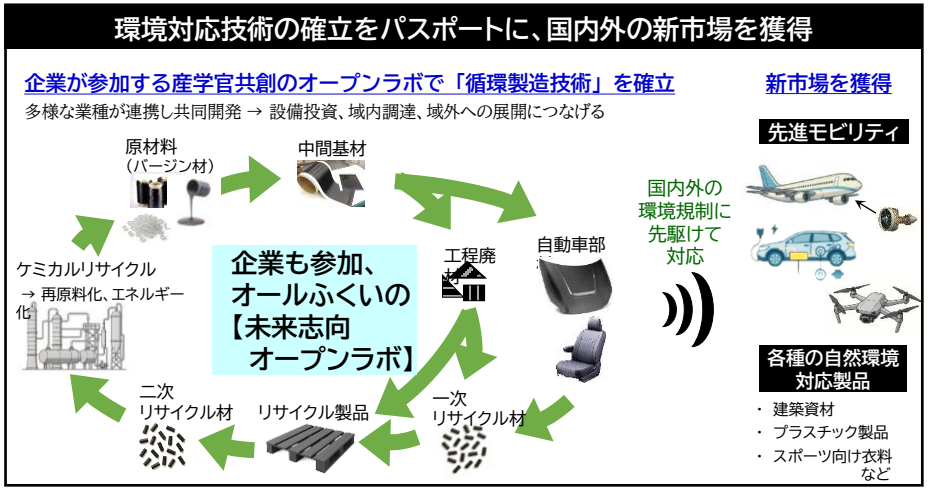
炭素繊維・プラスチック・繊維製品を核とする
先進マテリアル産業

＜特定の理由＞

地域に集積する炭素繊維・プラスチック・繊維製品に関する企業群は、サーキュラーエコノミーに対応することで、需要が大きい次世代モビリティをはじめとする新たな市場への進出が期待できる。

２．対象エリア

福井市・坂井市、及び原発のある嶺南地域をつなぐ
北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道の沿線地域



３．目指す姿（目標）

材料開発から加工、実証、リサイクル、用途開発までの機能が、効率的に循環できる先進マテリアル分野の産業クラスターを形成

- 「ふくいのマテリアルがなければ、空にも地上にも未来はない」と言わしめる、世界に冠たる先進モビリティの心臓部（マテリアル供給・循環）としての産業クラスターを実現
- 先進モビリティ以外にも、地域産業が、石油由来の材料（CFRP、プラスチック、繊維）のサーキュラーエコノミーの形成に寄与

【KGI（2036年度までの累計）】
官民設備投資額：約 200億円
付加価値創出額：約 322億円
産業人材育成数：約 440人

４．勝ち筋

地域共創型ラボの整備とその実働により、将来需要を先取りする新市場を獲得

- 県保有の炭素繊維技術（特許）や、これまでの関連研究の成果を活用
- 企業、大学、産総研、公設試が参加するオールふくいの「未来志向オープンラボ」を整備し、先進モビリティなどの軽量部材とその循環製造技術の開発に集中

  → 国内外のリサイクルの法規制に対応
- ラボの成果を地域企業に波及させ、先進モビリティ以外の市場でも新規参入を促進
- さらに、県外企業の生産拠点を誘致し、モノの域内調達・県域外販売の増加や、高度人材の域内調達とUIターンの流れを加速

５．政策手段

循環製造技術を確立するため、重点的な技術開発と専門人材の育成を行い、新たな市場への参入を促進

- 産業クラスター形成の中核となる産学官共創の次世代材料開発基盤の整備
  （「未来志向オープンラボ」の整備）
- ふくいオープンイノベーション推進機構を中心とした産学官金による伴走支援の実施
- 企業によるリサイクル体制の構築、設備等の投資の促進
- ふくい産業AXコンソーシアム等とも連携した未来志向の投資の促進
- 地域の大学・高専における多様な専門人材の育成